

# 2019アジア選手権報告書

参加団体名：日本製鉄	
氏名：佐藤 直行	種目：LM4X

今年の4月から社名が新日鐵住金から日本製鉄に変更になり、全日本選手権優勝で花を添えることが出来、アジア選手権の出場資格を得ることが出来ました。

チームとして“アジア優勝”を目標に活動していきましたが、地元茨城での国体での優勝を目指して活動しておりましたが、強風の影響で途中大会中止になりモチベーションが低下してしまい国体後の練習は苦慮いたしました。

当部は、いろいろな問題があり不安の中、韓国遠征となりましたが、韓国に行ってみると、どこに行っても皆さんが優しく対応して頂き、不安な気持ちが無くなって大変素晴らしい遠征が出来ました。いろいろな関係者の多大な協力により出場する事が出来たことをこの場を借りてお礼申し上げます。

## 1. レースの展開、結果、反省点

決勝レースでは、スタートから出遅れてしまい上位2チームに追いつけず終わってしまいました。

国際経験豊かな選手が数名いましたが、最後までうまく噛み合わず消化不良の大会でした。

コンスタントについては、いいリズを刻むことが収穫でした。今後はスタートからコンスタントに入るまでを日本チームとして磨いて行かないと世界には追い付けないと思いました。

## 2. 国際大会を経験して良かったこと、困ったこと、今後のボート人生にどのように影響するか。

①当部といたしては、今まで日本代表選手の参加はありましたが、単独クルーでの国際大会の参加は、当部が発足して（住友金属⇒新日鐵住金⇒日本製鉄）から初めての国際大会出場となり記念に残る大会となりました。

②国際大会の舞台でも、当部のモットーである“いつも通り”“明るく楽しく”“勝ちに拘る”ことを選手は実践してくれました。

③今後も日本代表として、出来るだけ多い人数で参加して大いに日本ボート界を盛り上げて行ってほしいと思います。

④今回の遠征で国際部の皆様には大変お世話になりました。国際部、強化部との垣根を越えて一致団結して日本の強化に努めて欲しいと思います。